

科目名：地域・在宅看護論概論	配当年次 1 年	開講時期 1 年後期
単位・時間： 1 単位 (30 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 吉野 里子	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>高齢社会の到来、社会情勢の変化、人々の健康に対する考え方や健康生活への認識の変化により、在宅看護のニーズが増大した。様々な在宅看護に対応するため、在宅看護の概要を理解し、在宅看護の目的と機能を学ぶ。</p> <p>家族とともに住み慣れた地域で暮らし続けるため保健・医療・福祉が連携し生活を支援していることを理解する。また、社会保障システムの理解と多職種・多機関との連携における看護の役割について学ぶ。</p>	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護の目的と特徴 2. 地域の健康と暮らしを支える看護の対象者 3. 在宅看護の提供方法・療養の場の移行に伴う支援 4. 在宅看護に関わる法令・制度と活用 5. ” : 医療保険法・生活保護制度 6. ” : 障害者支援法・難病法 7. ” : 介護保険法 8. 在宅生活を支える訪問看護の制度・サービスの展開 9. ” 10. 在宅看護過程の特徴 11. ” 12. 地域包括ケアシステムの背景と機能 13. 地域包括支援センターの機能と役割 14. ” 15. 筆記試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	筆記試験 レポート	
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト</p> <p>系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト</p>	
履修上の注意事項		

科目名：地域・在宅看護論方法論Ⅲ	配当年次 2 年	開講時期 3 年後期
単位・時間： 1 単位 (1 5 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 林 美友起	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>これまでの医療は病気を治すことに主眼をおき発展してきたが、急速な少子高齢化社会に突入し時代の変遷のなかで大きな転換を迫られ「終末期」という概念は、その人の生き方や最期の迎え方を含めてとらえる「エンドオブライフケア」へと移行し「生きることを支える看護」が提唱されている。</p> <p>エンドオブライフケアにかかわるすべての医療・介護専門職は苦痛を取り除き、人生の最期の時をおだやかにその人らしく迎えられるよう、質の高いケアを提供しなければならない。「その人らしく生きることを支える」ための看護の知識・技術・態度について学ぶ。</p>	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護におけるエンドオブライフを支える看護の特徴と支援の方法 2. 対象の意思を尊重した看護の実践 3. その人らしく暮らすための治療と看護 4. ” 5. 在宅看護におけるエンドオブライフを支える家族の看護の支援 6. 在宅医療チームにおける多職種連携と看護師の役割 7. ” 8. 終講試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	筆記試験 60% 講義内で提示した事例展開での課題 40%	
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト</p> <p>系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト</p> <p>系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 eテキスト</p> <p>系統看護学講座 専門分野 脳・神経 医学書院 eテキスト</p>	
履修上の注意事項		

科目名：地域で暮らす人々	配当年次 1 年	開講時期 1 年前期
単位・時間： 1 単位 (1 5 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 曾川 恵子・吉野 里子	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>地域で暮らす人々とその家族の健康と暮らしをみる視点を培うための生活者の視点で地域を捉えることを目的とする。</p> <p>地域社会の特性をふまえ様々な仕組みがつくられていることを理解し、健康的な生活を送るために、人々が地域で支え合い暮らしていること学ぶ。</p> <p>また、地域で暮らす人々との交流を通し、地域・在宅看護における対象を理解するための必要なコミュニケーションについて理解を深める。</p>	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の歴史や地理を把握と地域で暮らす人々の生活の実態 2. 生活環境が地域で暮らす人々の生活に与える影響 3. 〃 4. 地域で暮らす人々の暮らし方の把握 5. 〃 6. 健康的な生活を送るための地域社会の仕組み 7. 〃 8. 発表・まとめ 	
成績評価の方法・基準	<p>フィールドワーク</p> <p>グループワークのレポート</p> <p>発表</p>	
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト</p> <p>系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト</p>	
履修上の注意事項		

